

1 単元 「世界に広がれともひかりの輪！」米の値段を決めよう

2 本時のねらい

- ・米の流通の仕方や値段決定のしくみを知ることを通し、自分たちが作った米の値段の目安を考えることができる。

3 単元計画

学習内容	
これまで の学習	○「育て！さかえともひかり！」 ・減農薬、減化学肥料での米の栽培体験を通し、米作りの苦労や 機会の便利さを学んだ。
1	・スーパーや新聞から米の値段を調べ、様々な値段があることや 流通の複雑さに気づき、米の値段決定のしくみについて調べて みようという意欲をもつ。
2（本時）	・前時で挙げられた疑問を総合教育センターの先生に質問し、米 の流通の仕組みや米の値段決定のしくみを知る。
3	・米の値段を決める話し合いを通し、買い手・売り手それぞれの 立場から適正な価格について考える。
4	・米を売る計画を立て、準備する。（実際に売るのは後日、別の 学習で）
以後の 学習	・米を売ったお金をどこに送るか決める。 ・世界の困っている子どもたちの様子を知る。 ・外国に売上金を送る。

4 本時の展開

学習活動と教室での支援【分】	センター指導主事の支援
【11：20接続確認→教室のテレビ消す】 【11：25授業開始】 1. 前時のふりかえりをする。【2】 2. 自分たちの米の値段を決めるために疑問をもったことを確認したところで、めあてを提示する。【1】 <u>「米の値段はどうやって決まるのか考えよう」</u> 3. 先生の紹介をする。【2】 ・「ここで今日の勉強をお手伝いして下さる先生を紹介します。センターの京先生です。よろしくお願いします。」 「お願いします。」で京先生に渡します。 4. 先生に質問する。【30】 ・教室では子どもが自分の言葉で質問できるよう支援していきます。 ・①の3人を次々に質問させ、教室で簡単にまとめてからセンターに返します。そこで資料提示と説明を受けます（②以下同様）。 ・センターからの画面に示された言葉を教室で整理しながら模造紙にまとめていきます。 ・子どもはお話を聞きながらメモをとります。 ・分からないことがあったらその都度質問させます。 5. 「つまり」「ということは～ではないか」の型を使って、分かったことをまとめ、自分なりに値段を設定する。 6. 自分が決めた値段を理由を添えて発表する。（全員起立させ、3～4人に発表させる。値段が近かったり、理由が似ていたりした子どもは着席させる） 【5と6を合わせて5分】 7. 先生のお話を聞く。【4】 ・「皆さんの今の発表を聞いて、京先生がどのような感想を持たれたか、お聞きしましょう。」 の言葉で、京先生に渡します。 8. あいさつ【1】 （ふり返りは宿題） 【接続解除12：10予定】	【教室側テレビoff】 1. 待機して下さい。 2. 待機して下さい。 【教室側テレビon】 3. 簡単な自己紹介をお願いします。 4. 子どもの質問に答えて下さい。 ①米の値段の決められ方について（3人） ②米の品種（銘柄）による値段の違いについて（5人） ③米の育て方による味や人気、価値の違いについて（11人） ④その他（5名）（時間があれば） 5. 待機して下さい。 6. お聞き下さい。 7. 子どもの発表にもよりますが、作り手の意識が強いと思われますので、買い手の意識の話をお願いします。その際、教室の誰かへ問いかけて下さるとありがたいです。 8. 最後に今後の学習への励みになるようなお言葉をお願いします。

